

## 平成 2 5 年度 同好会事業報告

技術・家庭科 同好会      世話係名 平澤 和広      会長名 塩澤真千子

月 日	実施した事業内容	参加人員
5月1日	発足会	16名
8月2日	夏期講習会 技術 計測・制御の教材研究 家庭 伝統料理『やしょうま』を作ろう。	技術 6名 家庭 24名

今年度、家庭科、技術・家庭科同好会では、十一月に相森中学校で行われた北信大会に向けて、研究委員会と協力しながら活動を進めてきました。また、技術分野・家庭科分野に分かれての夏休み研修会も行いました。

技術分野は、相森中学校を会場に、昨年度に引き続き、松本市のこばやし造形堂さんにお越し、「計測・制御」の教材研究および実習を行いました。ここでの研修を十一月の北信大会にもつなげることができました。

一方家庭科分野は、地域の食文化の継承を大切に考え、常盤中学校を会場に伝統料理「やしょうま」の実習を行いました。講師には須坂市生涯学習「にこにこすざか食」から、五名の方をお招きしました。今年も相森中学校の家庭科部の皆さんが参加してくださり、賑やかに作って学ぶことができました。某テレビ局の各県の自慢を紹介する番組で「須坂の伝統料理」が取り上げられたこともあり、「やしょうま」以外に「おやき」・「ひんのべ」などの伝統料理についてもお話をお聞きして知識を深めることもできました。「やしょうま」は、仏様が亡くなった日に食べる料理ですが、色付けした餅を巻き寿司の要領で束ねて筒状に成形した後の、切り口の模様が大切なポイントでもあります。初めはどんな模様ができるか見通しが持てず、ただただ教えられた大きさに作っていったわけですが、最後に糸を使って切った時にできた花模様の美しさには、どのグループからも大きな歓声が上がりました。本格的なやしょうまは時間がかかりますが、二時間の授業で簡単にできるやしょうま作りへのアドバイスもいただき、授業で生かす手応えを得ることのできる研修となりました。

(会長 塩澤真千子)

